



2022年

3月

中国四国農政局
高知県拠点

土佐蔵の内部

世界の食卓に酔鯨を！（酔鯨酒造株式会社：高知市）

農林水産省が推進する農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）の登録事業者である酔鯨酒造株式会社（以下「酔鯨（株）」という。）は、米国を中心に、欧州、アジア、オーストラリアに純米酒、純米吟醸酒を輸出し、おいしい日本酒を海外の消費者に提供しています。土佐のお酒の魅力を発信している酔鯨（株）の取組を紹介します。

世界を見据えた酒造りと情報発信

酔鯨（株）は、1872年に高知市長浜において酔鯨酒造の前身である石野酒造が創業し、1972年に酔鯨（株）へ改組、2018年には高知市にある長浜蔵に加えて、土佐市甲原に最新醸造設備を導入した土佐蔵をオープンしました。

長浜蔵では、歴代の蔵人から受け継いだ酔鯨（株）のレギュラー商品を製造し、土佐蔵ではISO22000（食品安全マネジメントシステムに関する国際規格）を取得し、徹底した品質管理のもと最新設備を駆使した最高級の純米大吟醸酒を中心に製造しています。

国内での日本酒の飲酒量は減少傾向が続いておりますが、日本産酒類の国際的な評価の高まり等を背景に、海外への輸出については近年大きく伸長を続けています。酔鯨（株）では、世界中の食卓で多種多様な料理とともに日本酒を楽しんでもらえるよう、お酒の楽しみ方を知っていただくための利き酒会、コミュニティイベントなどを定期的に国内外で開催すると共に、2015年頃より輸出販売に積極的に取り組んでいます。



（酒造り工程の見学ができる土佐蔵）



（高級酒と日常酒のラベル）

日本酒の輸出販売拡大に向けた工夫とその効果

「酔鯨」という漢字2文字での商品表記は、海外では酔鯨ブランド商品と日本の他メーカーとの識別がされにくいため、鯨の絵を使ったラベルに刷新、高価格帯の商品に「ホエールテール」（写真左）を、日常で楽しんでいただくリーズナブルな商品に「シルエットクジラ」（写真右）を使っています。鯨の絵を採用したことで「日本の酔鯨（株）のお酒」と知名度は高まり、輸出販売の拡大へとつながっています。

新たな取組！自社での酒米造り

土佐蔵では、酒造りに大切な原料である酒造好適米を玄米の状態ですべて仕入れて自社精米し、仕込みをするまで最適な室温や湿度で保管していますが、自ら栽培した米でお酒を造りたいとの思いから、土佐市内の耕作放棄地を主に借り受け、2019年から酒造好適米「吟の夢」の栽培を始めました。地元生産者の協力を得ながら今後も栽培面積を増やし、原料酒米の安定した品質と生産量の確保を目指しています。

地元の米で造ったおいしいお酒を世界の食卓に届けようと、輸出商品の原料となる酒米の増産への取組も始まっています。



（酒造好適米「吟の夢」を栽培する田んぼ）

（写真提供：酔鯨酒造株式会社）

酔鯨酒造株式会社のホームページ <https://suigei.co.jp>

「ノウフク・アワード2021」の受賞団体について

農林水産省では、農福連携に取り組んでいる優れた事例をノウフク・アワードとして表彰し、全国への情報発信を通じて他地域への横展開を図っています。令和3年度における「ノウフク・アワード2021」の受賞団体が決定し、高知県では安芸市農福連携研究会が審査員特別賞を受賞しました。



審査員特別賞 安芸市農福連携研究会

【安芸市農福連携研究会の取組の概要と成果】

2018年、安芸市農福連携研究会が発足、定例会を毎月開催し、関係機関との情報交換を積極的に実施しています。

また、取組みに対する地域や関係者からの理解を深めるため、安芸市における農福連携の仕組みづくりと障がい者理解についての講演、実際に障がい者等を雇用している農家の体験発表などを行っています。発足当初は農福連携に参加する経営体は11戸でしたが2021年度には約2.5倍の27戸に増加しました。現在は、取組当初に比べ約6倍となる95名の障がい者が就労・雇用されています。



みんなで耕そう！人・物・金・情報の繋がりが未来を創る

(ノウフク・アワード2021ポスター)

詳しくはこちらをご覧ください。公式ウェブサイト<https://noufuku.jp/award/award2021/result/>

「サステナアワード2021」受賞作品の紹介

サステナアワード2021では、SDGs12「つくる責任 つかう責任」を踏まえ、食や農林水産業に関わる持続可能なサービス・商品を扱う地域・生産者・事業者の取組を広く国内外に発信していくことを目的として、サステナブルな取組を分かりやすく紹介する動画を募集しました。

ご応募いただいた92作品の中から、有識者による審査を経て決定した農林水産大臣賞、環境大臣賞、消費者庁長官賞をはじめとする各賞が発表・表彰され、高知県では「南国にしがわ農園」の作品が「AgVenture Lab賞」を受賞しています。

AgVenture Lab賞 南国にしがわ農園「私たちの想い」

受賞した作品は、有機栽培への想いと、農福連携による有機グアバの栽培から自社工場での茶の製造や果実の加工・販売を通じて障がいを持たれた方の雇用を創設し、一緒に働くことへの想いを語る内容となっています。

「南国にしがわ農園:私たちの想い」の作品はこちらをご覧ください。

<https://youtu.be/obAZGAv-T1A>



(受賞作品のサムネイル画像)



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集:中国四国農政局 高知県拠点

〒780-0870 高知市本町4丁目3-41 高知地方合同庁舎

TEL(088)875-7236(代) FAX(088)875-7531 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>